

村民あげての新日下川放水路完成式について

高知河川国道事務所 総務課 下元 利光
高知河川国道事務所 計画課 福増 綾乃
日高村建設課 建設課長 西村 篤史

令和6年4月21日、高知県高岡郡日高村において新日下川放水路の完成式が開催された。この式典には事業関係者など約160名が参加し、また、同時開催のトンネル完成記念イベントの効果もあり、約3千人もの来場者となった。

本稿では「村民あげて完成をお祝いする」、「村民から事業関係者への感謝を伝える」、「平成26年の水害や放水路の役割をできるだけ多くの人に知ってもらおう」、をコンセプトに、地元自治体との連携のもと行った式典及び関連行事における様々な工夫とその結果について報告する。

キーワード 広報、インフラツーリズム、住民参加

1. 高知県高岡郡日高村について

日高村は、高知県のほぼ中央部に位置し、南北を山々に囲まれ、村の中央部を仁淀川の支川日下川が流れる自然豊かな地域である（図-1）。高知市から約16km、車で約30分でアクセス可能である。



図-1 日高村位置図

主な産業は農業であり、高糖度な「シュガートマト」や「霧山茶」、生姜などが特産品である。特産品のトマトを使ったオムライスを提供する店舗で賑わう「オムライス街道」は村の名物となっている。

令和3年12月に国道33号高知西バイパスが延伸され、アクセスが向上したことで交流人口の増加が期待されており、観光にも力を入れている。

2. 新日下川放水路について

(1) 日下川流域の治水の歴史

日高村は、その地形特性から水害の被害を受けやすい地域である。村内を流れる日下川は、河床勾配が1/3000と非常に緩やかで、浸水しやすい特徴を持つ。さらに、流域全体が低奥型地形であるため、大雨の際には仁淀川の水位が上昇し、逆流することもある。

当地では嘉永2年（1849年）の大洪水をはじめ、大正3年（1914年）には、仁淀川からの日下川への逆流を防ぐための神母樋門が村民総出で建設された。昭和21年（1946年）の南海地震後には、地盤沈下により浸水被害が深刻化し、昭和36年（1961年）には県事業としてトンネル放水路が整備された。その後も昭和50年（1975年）には記録的な豪雨による大規模な浸水被害が発生し、昭和57年（1982年）には国の直轄事業として2本目となる放水路が完成した。300年を超える「水との闘い」の歴史を背景に日高村の治水施設は、樋門、放水路、調整池の3つの柱を中心に機能してきた。

(2) 平成26年台風災害と新放水路の建設

平成26年8月、日高村は連続して襲来した台風第12号と第11号により甚大な浸水被害を受けた（写真-1）。特に台風第12号の影響で、村内では159戸が浸水し、国道33号が最大24時間通行止めとなり、JR土讃線も70時間不通となった。



写真-1 日高村の浸水被害（平成26年8月）

この被害を受けて、平成27年度に「床上浸水対策特別緊急事業」が採択され、国の直轄事業として3本目の放水路の建設が決定された。

新日下川放水路は、延長約5.3km、直径7mの自然流下式の放水路トンネルであり、平成30年1月に工事が始まり、令和6年3月に完成した（写真-2）。



写真-2 新日下川放水路

3. 新日下川放水路完成式の開催

新日下川放水路の完成に伴い、令和6年4月、「新日下川放水路完成式」を開催することとなった。この完成式は単なる事業完了を報せる行事ではなく、村民をあげて完成をお祝いするとともに、村民から事業関係者へ感謝を伝える場とする、平成26年の水害や放水路の役割をできるだけ多くの人に知ってもらうことをコンセプトに国と日高村で連携し様々な工夫をこらした式としており、人口約5千人の村に約3千人が集った式典の特徴について紹介する。

(1) 完成記念イベントの同時開催

完成式には来賓の参加者だけではなく、できるだけ多くの村民に参加していただくため、完成式と同じ会場で日高村・日高村観光協会主催の「新日下川放水路トンネル完成記念イベント」を同時開催した。記念イベントの内容を以下に紹介する。

a) マルシェ

放水路の平場の一角を利用し、日高村観光協会主催のマルシェが開催された。村内の特産品のお茶やオムライ

スなどを提供する他、11店の出店が来場者を迎えた（写真-3）。



写真-3 マルシェの様子

b) ステージイベント

マルシェ会場の周辺では日高村のオムライス大使としても活動する歌手のリベットボタンさんにより制作された新日下川放水路の完成を祝う楽曲が披露され、その後も高知学芸中学高等学校コーラス部など数多くのステージイベントも催された（写真-4）。



写真-4 園児達による歌とダンス

c) 約2万個の餅投げ

完成イベント最大の行事としての餅投げでは、仁淀川改修期成同盟会の用意した約2万個の祝い餅とお菓子が盛大に宙を舞った。

なお、今回の餅投げについては、その規模の大きさから、準備から当日の様子までをTVでも特集されることとなり、その番組内でも式典及び新日下川放水路についてもとりあげられ、多くの方に施設の存在を知っていただけの機会となった（写真-5）。



写真-5 餅投げの様子

d) トンネルウォーク

イベント当日は、日高村観光協会が主催するインフラツーリズムとして放水路トンネル内の見学が行われ、普段は見るできない内部の様子を多くの住民にご覧いただいた。また、地元小学生には学校行事として見学してもらい、地域における放水路の役割を再認識してもらえる良い機会となった（写真-6）。



写真-6 トンネルウォークの様子

e) 車両展示等

来場者向けに車両展示を行い、高知河川国道事務所からは排水ポンプ車、照明車を設置するとともに、高知県からは地震体験車、高知県建設業協会からは小型バックホウなど体験型の車両の展示協力をいただき、来場した子供達にも楽しんでもらうとともに建設業に関心をもってもらうことや防災意識の啓発となる機会を提供することができた（写真-7）。



写真-7 地震体験車

(2) 村民による感謝のビデオメッセージ

日高村の住人達による放水路整備への感謝の気持ちを事業に携わった方々へ伝えるため、ビデオメッセージを撮影して完成式で披露した（写真-8）。



写真-8 ビデオメッセージ

ビデオメッセージへの出演者は、工事現場の近隣の住民、トマトの生産者、観光協会の方、村の拠点施設の方、保育園から中学校までの子供達など幅広く、各々がビデオを通じて自らの言葉で感謝の意を表した。なお、出演した村民は改めて事業の完成がもたらす地域への効果を見つめ直すきっかけにもなった。

式典に参加した設計・施工に携わった受注業者、国、県、村の発注者など多くの方々に視聴していただき、式典後には多くの方から「この事業に携わってよかった」等の喜びの声をいただいた。

(3) 地元児童の参加について

式典会場テントからくす玉開披会場まで式典参加者が移動する際やくす玉開披の際には、地元中学校の吹奏楽部の協力により演奏を行っていただいた。

また、くす玉開披にあわせて日高村内の保育園や小学校の子供達が感謝のメッセージを書いた約 300 個の風船をイベントの来場者と共に一斉に飛ばし、未来への希望を感じさせる式典における印象的な場面となった（写真-9）。



写真-9 風船飛ばし

風船飛ばしに集まった児童は、放水路見学を組み合わせることで学校の登校日とし、日高村の全児童を集めることができた。また、中学生や児童が参加することで多くの保護者も参加することとなった。

なお、予定外ではあったが、演奏にあわせて児童が自然と手拍子と合唱を始め式典に華を添えた。

(4) くす玉開披について

祝賀の雰囲気盛り上げ、事業の完成を記念するくす玉開披の瞬間を関係者も含め多くの方々の印象に残してもらうため、放水路を背景とした写真が撮れるように、事前にトラスの位置や高さ等を入念に検討した。



写真-10 くす玉開披

朝からの雨もくす玉開披の時には上がり、先述の吹奏楽部の演奏と風船飛ばしもあり、大成功のくす玉開披となった(写真-10)。

(5) 事前準備と当日の天候

式典の前々日には高知河川国道事務所の若手を中心とした職員自らが放水路の清掃を行い、式典に備えた。

また、式典当日は前日からの雨により式典会場周辺及びくす玉開披会場周辺に雨水が残っており、早朝においては小雨の状態であった。

式典参加者及び関連行事の参加者に支障なく会場を歩いていただき、祝賀ムードに水を差すこと無く式典や関連行事を楽しんでいただけるよう、高知河川国道事務所や村の職員らで協力して排水作業を行った(写真-11)。



写真-11 職員による排水作業の様子

4. 広報とその効果について

本式典と関連行事を実施するにあたって、より多くの方に来ていただくために次のような広報と周知を行った。

- ・村の広報誌にイベント情報を掲載
- ・事務所や日高村、観光協会のホームページでイベント情報の周知、SNS から式典の準備状況の写真の投稿など情報を発信
- ・日高村観光協会の作成したイベントのポスター、チラシを仁淀川流域の自治体にも協力してもらい配布(図-2)

式典開催までにこれらの広報をおこなった結果、当日の式典会場には約3,000人が集まった。また、式典とイベントについては多くの新聞やテレビでも取り上げられ、その様子が紹介された。



日時●2024年4月21日(日) 場所●新日下川放水路 香口導水路 (臨時駐車場あり)

げんきにオイワイ

お菓子もあるよ！
総個数 20,000個超！

もちなげ

11:30~

特別オイワイ企画

トシネル
ガイド付き！
ウオウウ

12:30~15:00
受付10:00~14:30

おいしくオイワイ

マルシェ

10:00~

- 道頓堀たこやき
- あきちゃんから揚げ
- りっちゃん食堂~おでん
- ピッツェリア・ノン
- ベジフルボート~スイーツ
- 深山茶園●ひだか●オムライス
- 太陽と月●Luna★ruru
- 日高村絵本コンクール彫剪作品展(雨天中止)

ゆかいにオイワイ

ステージ

12:00~15:00

- ★リベットボタン&保育園のみなさん「トマトの神様」
- ★高知学芸中学高等学校コーラス部
- ★日高よさこい踊り
- ★日高中学校吹奏楽部
- ★山崎ヒロとゆかいな仲間「オムライスのうた」

どどき

オイワイ
10:00~

天候等によりイベントが中止になる場合がございます

「起震車」に乗って防災体験！
～災害時に活躍する車両の展示をします



イベントお問合せ●日高村観光協会：050-3204-1996

図-2 イベントのチラシ

5. おわりに

本式典では同時開催のイベントや児童の参加などの取り組みの結果、人口わずか5千人足らずの村に約3千人もの人々が集まり、感謝のビデオメッセージの披露や多くの村民が見守る中でのくす玉開披なども含め、当初の目標通り、「村民あげて完成をお祝いする」、「村民から事業関係者へ感謝を伝える」式典として盛大に開催できた。

また、多くの人に参加してもらうことにより、「平成26年の水害や放水路の役割をできるだけ多くの人に知ってもらう」という目標も達成することができた。

このように国と地方自治体が一体となって様々な工夫に取り組む式典は、他の事業にも応用できると考えられる。